

2026年度 政治経済学科 履修モデル

4年間の学び	1年次 大学で学ぶ方向性と到達点を自覚する	2年次 学びの軸足を専門分野に移し フィールドワークや海外体験で世界を広げる	3年次 個人研究で専門性を高めつつ将来を具体化し社会と接する	4年次 専門性の高度化と社会科学への視野を拡大
必修科目	政治学/経済学/社会への扉を開く/予備演習	キャリアデザインA・B /専門演習	キリスト教社会倫理A・B/卒業研究	
地域の課題を解決したい	平和学/まちづくり学/法学/社会学/経営学/情報学/環境学/情報と社会/ 地域社会論/ボランティア概論/倫理学概論	行政学A・B/日本政治史A・B/ミクロ経済学/民法A・B/社会政策論/ 国内フィールドワーク	日本政治思想A・B/公共政策論/日本経済論/経済政策A・B/地方財政/地域経済論/経済法/コミュニティ・ビジネス論	
グローバルな問題への理解を進めたい		政治学方法論/西洋政治思想史A・B/国際政治学/開発学A・B/国際機構論/ マクロ経済学/国際法A・B/現代社会論/海外フィールドワーク	比較政治学/アジア地域研究A・B/北米地域研究/アフリカ地域研究/国際経済論A・B/国際人権法/政治哲学	
持続可能な社会を実現したい		財政学/金融論/経済思想史/経済史/憲法/行政法A・B/ジェンダー論/ 家族社会学/	労働経済論A・B/労働法/NPO・NGO論/貧困に対する支援/異文化マネジメント/コミュニケーション学	
起業して経営者になりたい		商法/経営管理/経営倫理/組織行動論/会計学A・B/簿記Ⅰ/ パーソナル・ファイナンス/ビジネス実務/秘書学概論	会社法/金融商品取引法/ベンチャー・ビジネス論/中小企業論/マーケティング論/経営史/簿記Ⅱ（商業）・（工業）/ コーポレート・ファイナンス	
AI時代の社会ビジョンを考えたい		情報処理/情報応用実践/デジタルコミュニケーション/情報倫理/ 情報メディア史	社会科学とプログラミング/情報システム論/情報通信とネットワーク論/社会情報論	
公務員になりたい （公務員試験対策プログラム）	公務員講座（文章理解、推理判断、数的推理、資料解釈）	公務員講座（人文科学、社会科学、自然科学）	公務員講座（専門A・B）/公務員演習A・B/公務員特講（自治体研究A・B）	
	政治経済学科の専門科目			
	政治学/憲法	行政学A・B/ミクロ経済学/マクロ経済学/経営学/民法A・B/ 行政法A・B	財政学/社会学	

主要科目の特徴

科目名	説明
公共政策論	公共政策を、社会的課題の特定から、政策の決定、実施、評価というプロセスに沿って考察していく。
ミクロ経済学	ミクロ経済学の基礎を、グラフや数字の分析などを通して多角的に学ぶ
会社法	国内外の法律や判例を通じて、会社運営に関わるルールをさまざまな観点から考える
ジェンダー論	性差別に関わるさまざまな問題や性の多様性について具体的事例を通して理解する。
地域社会論	学生の関心に合わせたテーマで議論し、地域社会についての理解を深める
ベンチャー・ビジネス論	ベンチャー・ビジネスの基礎、起業のための実践的な知識・ノウハウを学ぶ。
デジタルメディア論	人工知能などを題材としてメディアの歴史、メディア論の考え方を身につける
情報と社会	情報化の観点から現代社会が抱えているシステムとしての限界について理解を深め、未来について考える。

2026年度 国際文化学科* 履修モデル

国際文化学科*では、国際的な教養を着実に身に付けるために、学びのプロセスを6つのスキル*に分け、カリキュラムを編成しています。

4年間の学び	知識 基礎知識を身に付け、記憶する力	理解 基礎的知識を関連付けながら、 理解する力	応用 実習を行ったり、問題を解決する力	分析 考察対象を構成要素に分けて、 ある部分が他の部分と どのように関係しているのかを見抜く力	評価 基準やスタンダードに基づいて 判断する力	創造 要素を統合して、筋が通り、 機能的な全体を作り上げる力
基礎科目群	基礎ゼミA・B	基礎ゼミA・B	基礎ゼミC			
地域文化科目群	現代アメリカ事情/ヨーロッパ入門/ ドイツ語圏文化	現代アメリカ事情/ドイツ語圏文化	アメリカ美術	アメリカ美術		ツーリズムと文化形成
思想科目群	倫理入門	アメリカの文化と社会/倫理入門	思想（倫理）	アメリカの文化と社会/ キリスト教と人間学哲学入門/哲学の思考法/ 哲学の諸問題	キリスト教と人間学/哲学入門/哲学の思考法/ 哲学の諸問題	思想（キリスト教）
歴史科目群	グローバル世界の歴史/ ヨーロッパと近代世界	ヨーロッパ近現代史/ヨーロッパ・中世・近代史/ アメリカ史/イスラム文明				
文学科目群	文学入門/英米文学概論	文学入門/英米文学概論/英米児童文学/ ファンタジー論/比較文学/絵本文化論/文学理論	クリエイティブ・ライティング	ファンタジー論/比較文学	比較文学	クリエイティブ・ライティング
芸術科目群	芸術と文化（西洋美術）	社会と芸術文化A・B/ 視覚・表象文化（映像文化入門）		視覚・表象文化（グローバル時代の映像）/ 視覚・表象文化（現代視覚文化）		児童英語教育（インターンシップⅡ）/ 教えるための英文法
コミュニケーション科目群	TOEIC初級/ 実用英語技能検定（英検2級）対策A/ TOEFL/現代英文法	TOEIC中級/実用英語検定（英検2級）対策 B/TOEFL/就職に役立つ基礎英語/ 職場に役立つ基礎英語/現代英文法	グローバルコミュニケーションスキルズ/ グローバルリーディングスキルズ/ グローバルライティングスキルズ	Public Speaking/Academic Debate/ English through Literature	Media Literacy/外国語学習ストラテジー	Media Literacy/外国語学習ストラテジー
言語・英語教育科目群	児童英語教育（理論）/言語学概論/英語学概論/ 英語音声学/異文化理解	児童英語教育（カリキュラム・デザイン）/ 言語学概論/英語学概論/英語音声学/異文化理解	児童英語教育（ワークショップA/B）/ 教えるための英文法/英語スピーチ発音法	児童英語教育（インターンシップ）/ 教えるための英文法/異文化理解	教えるための英文法	教えるための英文法
上級・関連科目群			インデペンデント・スタディ/海外研修			
演習科目（ゼミ）	基礎ゼミA・B	基礎ゼミA・B	基礎ゼミC/専門演習1・2	専門演習1・2	卒業研究1・2	卒業研究1・2

* 2026年4月より「欧米文化学科」は「国際文化学科」に学科名称変更

* 各スキルの分類はブルームタキソノミーに基づいています。（参照）ロリン・W・アンダーソン、ディビット・R・クラスフォール編者ほか「学習する、教える、評定するためのタキソノミー」ブルームの『教育目標のタキソノミー』の改訂版、東信堂、2023、429p.

主要科目の特徴

科目名	説明
多文化共生論ゼミナール	「平和」「人権」「自由」「寛容」「格差」「教育」をテーマとして皆でディスカッションする。
英米文学ゼミナール	英米文学や映画を題材に取り上げ、物語の「読み方」を学び背景にある社会や文化、歴史について考える。
アメリカ研究ゼミナール	近代・現代アメリカの美術、写真、映画、建築、ドラマやアニメーションを人種・階級・ジェンダーの観点から分析する。
映像文化ゼミナール	ニュース映像、映画、マンガ、アニメといった映像文化の歴史や社会背景、読み解き方などを学ぶ。
応用言語学ゼミナール	「語用論」や「第二言語習得論」など、言語やコミュニケーションについてさらに深く学ぶ。
文化受容論ゼミナール	西洋文化が明治時代以降、日本にどのように受容されてきたかを学ぶ。
外国語教育ゼミナール	外国語教育についての考え方の変化を考察。時代ごとのカリキュラムの内容や変化を多様な視点から分析する。
ヨーロッパ史ゼミナール	ヨーロッパの歴史を学ぶ。プレゼンテーション・スキルの向上を目指す。

2026年度 日本文学学科 履修モデル

4年間の学び	1年次	2年次		3年次	4年次
	人文学を幅広く学び自身の興味・関心を探る	2年次から選択したゼミに所属し		専門分野の学び、個人研究に取り組む	個人研究をまとめ専門性を高める
文学・語学系統	日本語概説／日本文学概説／日本語教育A／日本語教育B／ 日本語教育と社会／古典講解／中国文学／ 日本文学史（上代・中古・中世・近世／近現代）／言語習得と異文化受容	日本文学研究と批評（古典）／日本文学研究と批評（近現代）／ 心理言語学／古典講読A・B／日本語学(文字語彙)／日本語学（文法）／ 日本語教育C／日本語教育(基礎技術)／グローバル社会と国際理解／ 日本文学特殊講義／日本語特殊講義／言語学特殊講義		ライトノベル論／言語学概論／対照言語学／言語文化論／ 日本語学（音声）／日本語教育D／日本語学特殊講義／言語学特殊講義	卒業レポート／卒業論文
歴史・思想系統	日本史概説A（古代・中世・近世史）／日本思想入門／ 日本史概説B（近現代史）／史料読解	日本史の研究（古代史特論）／日本史の研究（中世史特論）／ 日本史の研究（現代史特論）／歴史と文化／歴史と社会／ 日本の思想（キリスト教）／比較宗教学／中国思想		日本史の研究（近世史特論）／日本史の研究（近代史特論）／ 日本の思想（儒教）／日本の思想（仏教）／日本史特殊講義／ 日本思想特殊講義	卒業レポート／卒業論文
文化論・ 比較文化系統	伝統芸能入門／相関文化／比較文化概論／日本の音楽	日本の演劇／日本の美術／日本の民俗／視覚・表象文化（グローバル時代の 映像）／絵本文化論／異文化間コミュニケーション／比較文学		日本のポップカルチャー／視覚・表象文化（映像文化）／文化人類学／日 本文化特殊講義／比較文化特殊講義	卒業レポート／卒業論文
共通	日本文化概論／日本学入門／文章表現法／書道	日本語表現法（ディベート）		キリスト教文化論A・B	—
教職科目	国語科教育法Ⅰ／漢文学概説	国語科教育法Ⅱ／国語科教育法Ⅲ／教えるための古典Ⅰ／ 教えるための古典Ⅱ／教えるための現代文		国語科教育法Ⅳ／教育実習／教えるための古典Ⅲ（古文）・（漢文）	—

主要科目の特徴

科目名	説明
日本文学概説	「源氏物語」などを通して書物の装訂や物語の話型、展開など日本文学の基礎を学ぶ。
日本語教育A	日本語教育の背景や歴史を学び、教師に求められるものを考え、実践を通して理解を深める。
日本史の研究 (中世史特論)	室町・戦国期の埼玉領域（武蔵国）における戦乱が地域社会に及ぼした影響について理解を深める。
日本史の研究 (近代史特論)	劇作家・三好十郎の活動を追いながら、戦前・戦中の政治、社会、思想の特徴について検証する。
文学理論	文学理論の歴史、レトリック、物語論などを、漫画や映像作品なども用いながら学ぶ。
中国文学	中国六朝期の志怪小説『搜神記』の本文読解および原典考証を行う。
比較文化概論	日本の文学者やその他の知識人たちの海外での経験を、テキストから比較文化的に分析する。
教えるための 古典・現代文	古文・漢文、現代文を、教員として指導、作問する力を身につける。

2026年度 子ども教育学科 履修モデル

4年間の学び	1年次 発達理解と児童文化理解を土台にした学び	2年次 観察実習と理論の習得から子ども研究の基本を学ぶ	3年次 目指す進路に即した専門性を高める	4年次 子どもの「言葉にならない思い」を汲む力をもつ人に
子どもの発達を学ぶ	児童学概論／教育原理／教師論／保育原理／保育内容総論／子どもと健康／子どもと環境／子どもと言葉／子どもと表現／小学校各教科	学校インターンシップ（基礎）／教育・保育課程論／教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）／教育社会学／教育課程論／生徒指導論／外国語／子どもと人間関係／子ども家庭福祉／乳児保育／子どもの保健／子どもの健康と安全／子どもの食と栄養／社会的養護／子育て支援／専門演習Ⅰ（ゼミ）	保育内容・健康／保育内容・人間関係／保育内容・環境／保育内容・言葉／保育内容・表現／子ども理解の理論と方法／子ども家庭支援論／専門演習Ⅱ／卒業研究Ⅰ（ゼミ）	卒業研究Ⅱ（ゼミ）
	日本の民俗／異文化理解			
子どもの心理を学ぶ	発達心理学	教育心理学／教育相談（カウンセリングを含む。）／子ども家庭支援の心理学	－	－
子どもの文化を学ぶ	児童文化論／言葉の基礎	－	－	－
	児童学海外研修／キリスト教と学校教育／児童文学／造形表現基礎／絵本文化論／パネルシアターの理論と方法／英米児童文学／ファンタジー論／Smile English（幼児の英語）／おもちゃ論／異文化間教育／芸術と文化（西洋音楽）／音楽・実技／音楽・器楽／音楽・合奏指導／音楽・オルガン			
障害のある子どもについて学ぶ	社会福祉	特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援／障害児保育	－	－
教育・実習関係	－	介護等体験事前事後指導／小学校各教科の教育法（一部3年次）／総合的な学習の時間の指導法／特別活動指導法	小学校教育実習／保育実習	幼稚園教育実習／幼稚園教育実習（副）／保育実習A/B／教職実践演習（初等）／保育教職実践演習（幼）

同時取得が可能な資格	保育士＋幼稚園教諭／幼稚園教諭＋小学校教諭
------------	-----------------------

自分が取得を目指す資格以外の科目も受講することができます

主要科目の特徴

科目名	説明
学校インターンシップ（基礎）	幼稚園や小学校で観察実習を行い、子どもへの理解を深める。
教育心理学	グループワークも行いながら子どもの学習と発達に関する教育心理学の基礎を学ぶ。
異文化間教育	異文化の背景を持つ子どもの保育・教育や家族との関わり方について学ぶ。
保育実習	保育所および、乳児院や児童養護施設などの居住型施設で実習を行う。
音楽・器楽（ピアノレッスン）	自分のレベルに合った課題に取り組み、弾き歌いなどの技術と知識を修得する。
おもちゃ論	おもちゃの歴史や現状について学ぶ。おもちゃ作りや実際のおもちゃも体験する。
造形表現基礎	えのぐ遊びや造形活動などの体験を通して、子どもの造形表現活動について学ぶ。
児童学概論	「子どもが好き」を理論から解き明かし、子どもと大人の関係を探る。

2026年度 心理福祉学科 履修モデル

4年間の学び		1年次	2年次	3年次	4年次
		対話を重視した授業により大学で学ぶ基礎を身につける	心理学・福祉学の専門的な学びを深める	専門性を高めながら卒業研究を進める	自身の成長を振り返り4年間の学びを仕上げる
心理学を中心に学ぶモデル	共通基礎科目	共生社会論／情報社会の基礎理論／家族社会学／ 人体の構造と機能及び疾病	精神疾患とその治療／こども学／ボランティア概論	キリスト教人間学AB／社会老年学	保健医療サービス／精神保健学
	心理学科目	心理学概論／心理学研究法／心理学統計法Ⅰ／知覚・認知心理学／ 社会・集団・家族心理学／スポーツ心理学	臨床心理学概論／公認心理師の職責／発達心理学／健康・医療心理学／ 教育・学校心理学／神経・生理心理学／感情・人格心理学	司法・犯罪心理学／障害者・障害児心理学／児童心理学／青年心理学／ 福祉心理学／産業・組織心理学／心理学的支援法	カウンセリング心理学／対人関係論
	福祉学科目	社会福祉の原理と政策／ソーシャルワークの基盤と専門職	精神保健福祉制度論	子ども家庭福祉論／高齢者福祉論	スクールソーシャルワーク論
	演習科目		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ／卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅱ／卒業論文
福祉学を中心に学ぶモデル	共通基礎科目	共生社会論／情報社会の基礎理論／社会学と社会システム／ 人体の構造と機能及び疾病	社会保障論／精神疾患とその治療／精神保健学／ボランティア概論／ 社会福祉調査の基礎／保健医療と福祉	キリスト教人間学AB／権利擁護を支える法制度／ボランティア実践論	社会老年学／こども学
	心理学科目	心理学概論／心理学研究法／スポーツ心理学	臨床心理学概論	社会・集団・家族心理学／福祉心理学	障害者・障害児心理学／司法・犯罪心理学／対人関係論
	福祉学科目	子ども家庭福祉論／高齢者福祉論／障害者福祉論／ 精神保健福祉の原理A／社会福祉の原理と政策／ ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職（社会）／地域福祉と包括的支援体制／ 貧困に対する支援／精神保健福祉制度論／精神障害リハビリテーション	福祉サービスの組織と経営／刑事司法と福祉／ ソーシャルワークの理論と方法C（精神）	スクールソーシャルワーク論／医療福祉論
	演習科目		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ／卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅱ／卒業論文
国家資格 演習・実習	社会福祉士		ソーシャルワーク演習（共通）／ソーシャルワーク演習A（社会）／ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（社会）	ソーシャルワーク演習B（社会）／ ソーシャルワーク実習指導ⅡⅢ（社会）／ ソーシャルワーク実習ⅠⅡ（社会）	ソーシャルワーク演習CD（社会）
	精神保健福祉士		ソーシャルワーク演習（共通）	ソーシャルワーク演習A（精神）／ソーシャルワーク演習B（精神）／ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（精神）	ソーシャルワーク演習C（精神）／ ソーシャルワーク実習指導ⅡⅢ（精神）
	公認心理師	心理学研究法／心理学統計法Ⅰ	心理学実験／心理的アセスメント／心理学統計法Ⅱ	心理演習／心理実習	卒業研究／卒業論文
スクールソーシャルワーク教育課程*		スクールソーシャルワーク論	児童心理学	教育社会学	スクールソーシャルワーク演習・実習

*社会福祉士または精神保健福祉士の科目に加えて履修

主要科目の特徴

科目名	説明
カウンセリング心理学	グループワークを通して自己、他者理解を深め、カウンセリングの基礎を学ぶ。
社会・集団・家族心理学	家族や集団、社会とのつながりから個人の心のはたらきや行動を理解する。
司法・犯罪心理学	犯罪の心理学的分析を通して人間理解を深め、心理的な支援についても考える。
心理学実験	さまざまな実験を行いながら、心や行動を捉える方法についての理解を深める。
子ども家庭福祉論	出産や子育て、家庭、児童を取り巻く社会環境を理解し、支援のあり方を学ぶ。
貧困に対する支援	貧困状態にある人の生活実態や法制度、適切な支援について理解する。
スクールソーシャルワーク論	今日の学校教育現場を理解し、スクールソーシャルワーカーの価値、役割と活動内容を学ぶ。
ソーシャルワーク実習指導	事前、事後の学習指導を受けながら、地域のさまざまな社会福祉実践現場で実習を行う。